

講義名	地域ブランド論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	栗田 真樹		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング/2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
<p>地域ブランドの概念的枠組みをはじめ、従来のものづくりによる地域ブランドに囚われず多様な視点から地域ブランドを考察する。前半は、地域ブランドの概念や企業ブランドと地域ブランドの相連、地域ブランド政策などについて学習する。後半は、地域ブランドと地方創生や地域ブランドと観光まちづくりなどについて具体的事例を交えて学習する。</p>

<b>到達目標</b>
<p>地域ブランドの概念や企業ブランドと地域ブランドの相連、地域ブランドと地方創生などを理解することを最低限の到達目標とする。さらに、地域ブランドを構築する主体（担い手）や地域ブランドの今後の展望や課題を把握することを最終的な到達目標とする。</p>
<b>提出課題</b>
<p>出席を兼ねて、授業の後半に数回（4～5回）ミニレポートの提出を求める。</p>

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
<p>授業内で講評・解説します。</p>

<b>評価の基準</b>
<p>平常点20%、中間試験：20%、期末試験：60%</p>

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
<p>この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で30時間（2時間×15回）、予習・復習で60時間（4時間×15回）です。</p> <p>予習・復習、中間レポート試験、定期試験の準備等、授業時間外で60時間の学修を達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。</p> <p>具体的には、授業前に各回の授業内容について文献やインターネットを検索する等情報収集をしておいてください（2時間）、また授業後に各回の授業内容を復習し、要点をまとめ、疑問点があれば質問できるように記録しておいてください（2時間）。</p> <p>具体的には、授業前に各回の授業内容について教科書の該当部分を読み、要点をまとめておいてください（2時間）、授業後に各回の授業内容を復習し、再度要点をまとめ、疑問点があれば質問できるように記録しておいてください（2時間）。</p> <p>日頃から地域ブランドに関する情報や知識を蓄積することを望みます。</p>

<b>教科書</b>
<p>『地域ブランド論』、濱田他編著 同文館出版 2484円</p>

<b>プリント資料及び参考文献</b>
<p>授業ごとに資料（レジュメ）を配布する。</p>

<b>授業計画</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション（授業計画、成績評価他）</li> <li>2. 地域ブランドの概念的枠組み</li> <li>3. 地域ブランドと企業ブランド他</li> <li>4. 地域ブランドによる景観形成</li> <li>5. 地域ブランド政策について</li> <li>6. 地域ブランドを動かす外部の視線</li> <li>7. 新しい文化産業としての地域ブランド</li> <li>8. 中間試験</li> <li>9. 地域ブランドと地方創生</li> <li>10. 地域ブランドとWeb活用</li> <li>11. 地域ブランドと産学連携</li> <li>12. 地域ブランドによる観光まちづくり</li> <li>13. 地域ブランドの価値創造と崩壊</li> <li>14. 今後の地域ブランドの展望と課題</li> <li>15. 期末試験に向けた授業のまとめ</li> </ol>

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
<p>ア：PBL（課題解決型学習）</p> <p>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p>ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>エ：グループワーク</p> <p>オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実習、フィールドワーク</p>

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
<p>教科書に沿って授業計画を構成しているので予習を希望する。復習は、配布したレジュメや板書したキーワードなどの整理をして頂きたい。</p>

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>
<p>講義外のコミュニケーションの道具として、インターネット（ウェブ等）を活用していく予定です。URL等については、講義内で指示します。</p> <p>また、参加型授業のためのResponを履修者のスマホ等で利用する予定にしています。課題や意見聴取に使用します。学内アドレス、パスワードを確認しておいてください。利用できない人には別の方法をとりまます。</p>

<b>実務経験の有無及び活用</b>

<b>備考</b>